

全部隊長
全機関の長 殿

航空幕僚長
(公印省略)

隊員自主募集について（通達）（登録報告）

標記について、下記により令和4年5月1日から実施されたい。

なお、隊員自主募集について（通達）（空幕人第479号2. 4. 12）（航空自衛隊報第744号掲載）は、令和4年4月30日限り廃止する。

記

1 趣旨

この通達は、隊員が自衛隊地方協力本部（以下「地本」という。）に対して募集情報を提供することにより、募集業務を支援し、優秀な隊員の確保に資するため、隊員自主募集に係る各種の事項に関し、必要な事項を定めるものである。

2 適用範囲

隊員自主募集の適用範囲は、自衛隊地方協力本部の組織等に関する訓令（昭和31年防衛庁訓令第50号）第1条第3号及び関連文書第8第1項に規定する事務の範囲とする。ただし、次の各号に掲げる場合を除く。

- (1) 地本勤務者（地本に募集業務支援のために臨時勤務を命ぜられた者を含む。）が、当該勤務期間中に得た情報に基づく場合
- (2) 現に隊員である者が志願する場合

3 実施要領

別紙第1のとおり。

4 期待基準

- (1) 情報提供成果
編制部隊及び機関（以下「部隊等」という。）ごとに、所属人員 30 名につき 1 名とする。
- (2) 入隊成果
部隊等ごとに、所属人員 70 名につき 1 名とする。

5 表彰等

(1) 個人に対する表彰

表彰権者は、次の表の左欄に掲げる隊員自主募集の成果基準に達する成果を挙げた者に対して、それぞれ右欄に掲げる表彰を実施するものとする。

	隊員自主募集の成果基準	表彰区分
1	隊員自主募集による入隊者が、年間（毎年 5 月 1 日から翌年の 4 月 30 日までをいう。以下同じ。）5 名、2 年間連続 3 名又は 3 年間連続 2 名	第 3 級賞詞
2	隊員自主募集による入隊者が、年間 3 名若しくは 4 名又は 2 年間連続 2 名	第 4 級賞詞
3	隊員自主募集による入隊者が、年間 1 名又は 2 名	第 5 級賞詞

(2) 部隊等に対する表彰

前項に規定する期待基準を著しく上回る成果を挙げた部隊等に対しては、その成果の内容に応じて、次の表の左欄に掲げる部隊等表彰を実施するとともに、副賞は中欄に掲げる賞詞とし、当該賞詞の授与枠配分数は右欄のとおりとする。

	部隊等表彰の区分	賞詞	授与枠配分数
1	第 2 級賞状 第 3 級賞状	第 3 級賞詞	2
2	第 4 級賞状 第 5 級賞状	第 4 級賞詞	

- (3) 前号に示す賞詞を用いて表彰を行う場合において、該当する賞詞の表彰権を有しない部隊等の隊員に対する表彰は、当該部隊等の長の上申により当該賞詞について表彰権を有する部隊等の長が表彰するものとする。

6 報告等

別紙第 2 のとおり。

関連文書：次発人 1 第 17 号（37. 2. 8）

添付書類：1 別紙第 1 「隊員自主募集の実施要領」

2 別紙第 2 「隊員自主募集の報告等」

配布区分：陸上幕僚長、各方面総監、全国各地地方協力本部長

隊員自主募集の実施要領

1 隊員自主募集の対象者に関する情報

(1) 対象者の要件

ア 応募資格を有する者又はおおむね 2 年以内に応募資格を有することとなる者（中学生を除く。）

イ 自衛隊員としてふさわしい者

ウ 自衛隊に入隊することを希望する者又は広報、勧誘等によって応募の可能性があると思われる者

(2) 内容

氏名、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス、職業、学校、学歴、情報提供者との関係、志願種目、志願についての関心の度合い及びその他知り得た参考事項とする。

(3) 収集

手紙、休暇、外出、帰郷、知人訪問、出身校訪問、親戚近隣等との付き合い、その他あらゆる機会を利用して、平素から積極的に隊員自主募集の対象者に関する情報（以下「隊員自主募集情報」という。）の収集に努める。

この場合において、部隊等の長は、地本からの要請等に基づいて収集を実施する必要があると認めるときには、必要に応じ官用機を利用させることができ、その際の行動要領等は、付紙のとおりとする。

(4) 確認

収集した情報は、地本が効率的に活動できるように、各要素の確認を行い、確率の高い隊員自主募集情報とするよう努めるものとする。

なお、確認のできない不確実な情報又は確率の低い情報であっても、地本の募集源の拡大に有効であるので、廃棄することなく、不確実な情報である旨を明らかにして隊員自主募集情報とする。

(5) 活動報告

ア 隊員自主募集活動のために公務旅行を行った隊員は、付紙様式第 1 により隊員自主募集活動の実施内容について部隊等の長に報告する。

イ 地本に直接隊員自主募集情報を提供したときは、以後、人事担当者を通じて部隊等の長にその旨を報告する。

(6) 通知

部隊等の長は、隊員から隊員自主募集情報の報告を受けたときは、その内容を点検し、付紙様式第 2 に定める隊員自主募集情報通知書により、速やかに対象者の住所を担当する自衛隊地方協力本部長（以下「地本長」という。）又は対象者の希望する地本長に通知するとともに、写しを保管する。

2 成果

隊員自主募集情報を通知した地本長から、対象者が入隊した旨通知を受けたときは、これを隊員自主募集の成果とする。

3 着意事項

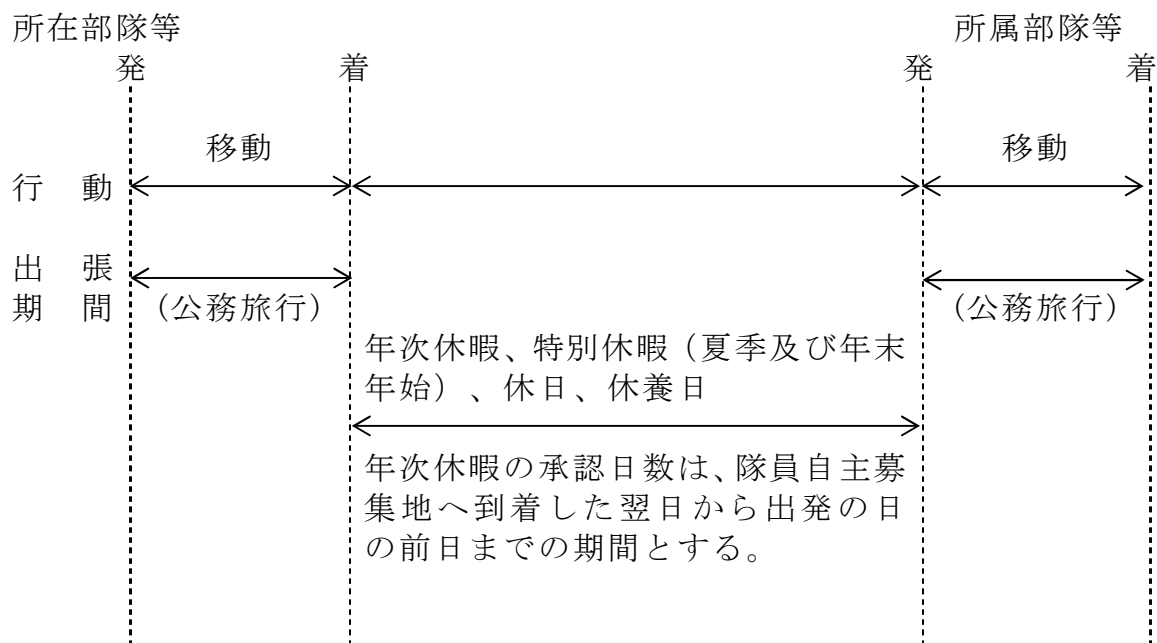
(1) 全隊員に隊員自主募集の重要性を深く認識させ、隊員自主募集情報の収集、処理等の手段、方法等について、具体的な指導を行う。

(2) 隊員が休暇等で帰郷するときは、隊員自主募集推進の好機であるので、事前に十分な指導を行うとともに、必要な広報資料を携行させる。

(3) 隊員自主募集の成果を継続的に分析し、検討し、更に創意工夫を加え、成果の向上を図る。

官用機利用時の行動要領等

1 行動要領



2 発令等

発令は、旅費業務の統一処理要領について（通達）（空幕会第135号51.6.17）別紙付紙様式第1に定める出張簿により行い、用務は隊員自主募集、用務先は隊員自主募集地の住所（市区町村まで）及び出張期間は前項の公務旅行の日とする。

3 旅費

支給しない。

隊員自主募集活動実施報告書（官用機利用有・無）

所 属		階級(級)		氏 名	
隊員自主募集実施期日		年 月 日 時 分～ 年 月 日 時 分			
隊員自主募集活動実施場所 (市区町村まで)					
官用機利用状況 日付・便名・利用区間					
隊 員 自 主 募 集 実 施 内 容 等	該当する□にレ印を記入する。（複数可）				
	対象者との関係	☐ 親族 ☐ 友人・知人 ☐ 母校の先輩・後輩 ☐ その他（ ）			
	活動内容	☐ 自衛隊について説明 ☐ 各種募集種目について説明（種目： ） ☐ 職務について説明 ☐ 勤務地について説明 ☐ その他（ ）			
	活動に使用した資料	☐ パンフレット ☐ 採用要項 ☐ 各種関連SNS ☐ ホームページ ☐ その他（ ）			
	対象者の反応	☐ 志願意志がある ☐ 志願意志がない ☐ 本人は志願意志があるが親は反対である ☐ 家族は志願を希望しているが本人は未定である ☐ 本人の意志は未確認である ☐ その他（ ）			
	地本への情報提供	☐ 有（通知先地本名： ） ☐ 無			
その他必要と思われる事項を記入					

- 注 1 件名の括弧内のうち有・無のどちらかを○で囲み、使用する。
- 2 官用機利用状況は次の例のとおり記載する。
 なお、利用がない場合は「なし」と記載する。
 （例）往路：5/11(月)・S－51・入間～那覇
 復路：5/15(金)・S－71・那覇～入間
- 3 記入後は「個人情報」とする。
- 4 文書管理情報を記載し、保存期間は3年とする。
- 5 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とし、縦長に使用する。

通知番号	隊員自主募集情報通知書															
地方協力本部長 殿																
通知年月日 年 月 日																
通知部隊等長 官職・階級・氏名																
情報提供者	階級	ふりがな (階級)		(氏名)				所属部隊等名								
	氏名							基地等名								
								部隊専用線		8	—		—			
対象者の情報	ふりがな					地本への要望	1 自衛隊の説明 2 試験種目の説明									
	氏名・性別						3 説明会の案内 4 自衛隊イベントの案内									
	生年月日	昭和 平成	年	月	日		5 陸上自衛隊の見学 6 海上自衛隊の見学									
	〒		—				7 航空自衛隊の見学 8 その他									
	住所	都 道 市 区 区		府 県 郡 町 町		情報提供者との関係	情報提供者は、対象者の									
		1 保護者 2 兄弟姉妹 3 親戚														
	電話番号		—		—		4 先輩・後輩 5 同級生・友人 6 保護者の友人									
	メール		@	7 その他 ()												
	学校名又は職業	学年														
本人同意	本情報の提供に関して対象者本人(中学生以下の場合は保護者)の同意を得て、左の囲みにチェック(✓)をしてください。															
保護者の本人及び志	本人	志願意志あり	自衛隊に関心あり	志願意志なし	不 明	その他特記事項	※1 元自衛官で再任用を希望する者は、退職時の階級・職種・保有特技を記入 ※2 現住所の地本以外への情報を提供する場合、その理由を記入									
	保護者	賛成	本人の意志尊重	反 対	不 明											
連絡方法等	連絡方法	1 情報提供者に一報し、日程等調整														
		2 対象者への連絡(中学生以下には直接連絡することはできません。)														
		3 対象者への保護者等への連絡 (対象者との続柄)														
		連絡希望時間帯 曜日 時頃														

【担当者記入欄】	
通知(受信)年月日	年 月 日
志願種目	
入隊種目	
入隊年月日	年 月 日
入隊先部隊	
備 考	

- 注 1 記入後、各部隊等長は通知番号を記入し、速やかに情報を提供する地本へ送付するとともに、写しを保管する。
- 2 予備自衛官、予備自衛官補については担当する地本長が記入させる。
- 3 記入後、「個人情報」及び「注意」の表記を実施する。
- 4 電磁的記録により送付する場合は、パスワード設定等の秘匿化措置を講じ、「注意」の取扱いが可能な情報システムにより行う。

隊員自主募集の報告等

1 隊員自主募集成果表の作成

- (1) 部隊等の長は、隊員自主募集の成果状況を取りまとめ、付紙様式第1に示す隊員自主募集成果表を電子化した入力用の様式（以下「データ様式」という。）により作成する。
- (2) 隊員自主募集成果表は、部隊等ごとで年度につき一つのデータ様式に累積して入力する。ただし、入隊成果については、その対象期間を当該年度5月から翌年度4月までとする。
- (3) 入力要領等は付紙のとおりとする。

2 報告等要領

- (1) 部隊等の長は、前項で作成した隊員自主募集成果表を次の表のとおり、空幕人事教育部募集・援護課長及びそれぞれの上級部隊等の長に、電子データで送付するものとする。

データ送付時期	隊員自主募集成果表の内容	送付期限
第1四半期	第1四半期の成果（4月入隊成果は除く。）	7月20日
第2四半期	第1四半期及び第2四半期の成果（4月入隊成果は除く。）	10月20日
第3四半期	第1四半期から第3四半期までの成果（4月入隊成果は除く。）	1月20日
第4四半期	第1四半期から第4四半期までの成果（4月入隊成果は除く。）	翌年度4月20日

- (2) 部隊等の長は、年度の隊員自主募集成果を翌年度5月31日までに、付紙様式第2により航空幕僚長（募集・援護課長気付）及びそれぞれの上級部隊等の長に報告するものとし（23-U90（D））、当該報告文書の別添とする隊員自主募集成果表の内容については、第1四半期から第4四半期までの成果（4月入隊成果は除く。）及び翌年度4月入隊成果とする。
- (3) 前2号について、送付期限及び報告期限が休養日の場合は、その前日を期限とし、成果がない場合は、その旨を電子メールにより連絡又は報告することを可とする。

3 隊員自主募集成果表の送付要領

隊員自主募集成果表の電子データは、ファイル名に部隊等名を付して、電子メールにより送付することを基準とし、送信する際は「開封確認の要求」を設定する。

4 留意事項

電子データの取扱いについては、行政文書管理及び情報保証に係る関係規則等に基づき適正な管理を行うものとする。

5 その他

実施に関して必要な細部については、この通達に定めるもののほか、空幕人事教育部募集・援護課長から連絡させる。

隊員自主募集成果表入力要領

入力項目	入力要領	入力例等
全項目共通	英数字は全て半角とする。 データ送付時期ごと、情報提供者ごと、提供先地本ごと、提供年月ごとで1行の入力とする。	第1四半期の情報で第4四半期に入隊成果となった場合、同一隊員の成果であっても別の行とする。
表題	() 内は成果の年度を入力する。	隊員自主募集成果表 (令和4年度)
一連番号	部隊等ごと一連番号を入力する。	
情報提供者 階級(官職) 氏 名	自衛官は階級を入力する。 事務官等は官職名を入力する(職務の級は入力しない)。 氏を入力する。 名を入力する。	1佐、3曹、2士 事務官、技官 大空 守
提供先地本名	隊員自主募集情報通知書を送付した地本名を入力する。	札幌、東京、福岡
提供年月	隊員自主募集情報通知書を送付した年月を入力する。	R4.7
情報提供数 件数 27才以上の 内数	情報提供数を入力する。 情報提供数のうち、27才以上の件数を入力する。	
入隊者 入隊者数 (区分)	地本から入隊成果通知のあった入隊者数を入力する。 採用区分を入力する。略称可	自衛官候補生(空)、 防大、防医大(看)
備考	その他の情報提供状況及び入隊状況についての特記事項を入力する。	1四入力漏れ
第 四半期計	各項目の四半期ごとの小計を入力する。	
合計	各項目のデータ送付時点における累計を入力する。 年度報告時は年度の合計を入力する。	
所見	隊員自主募集について他部隊の参考となる事項、施策の実施状況、施策上の要望等について記載する。	帰郷広報1件(実施日 R4.8.10) 母校等訪問2件

付紙様式第 1

隊員自主募集成果表（ 年度）

部隊等名：

一連 番号	情報提供者		提供先 地本名	提 供 年 月	情報提供数		入隊者		備 考
	階 級 (官職)	氏 名			件数	27 才以上 の内数	入隊者数	(区 分)	
	第 四半期 計								
	合 計								
	所 見								

注：1 データはエクセル形式とし、所見の項以外のセルは結合しない。

2 用紙の大きさは日本産業規格A列4番とし、横長に使用する。

発簡番号
発簡年月日

航空幕僚長
(募集・援護課長気付) 殿
上級部隊等の長

部隊等の長

隊員自主募集成果報告(令和 年度) (23-U90(D))

標記について、別添のとおり報告する。

添付書類: 隊員自主募集成果表(年度) ○○○隊(データで別途送付)

(略)

注: 用紙の大きさは日本産業規格A列4番とし、縦長に使用する。